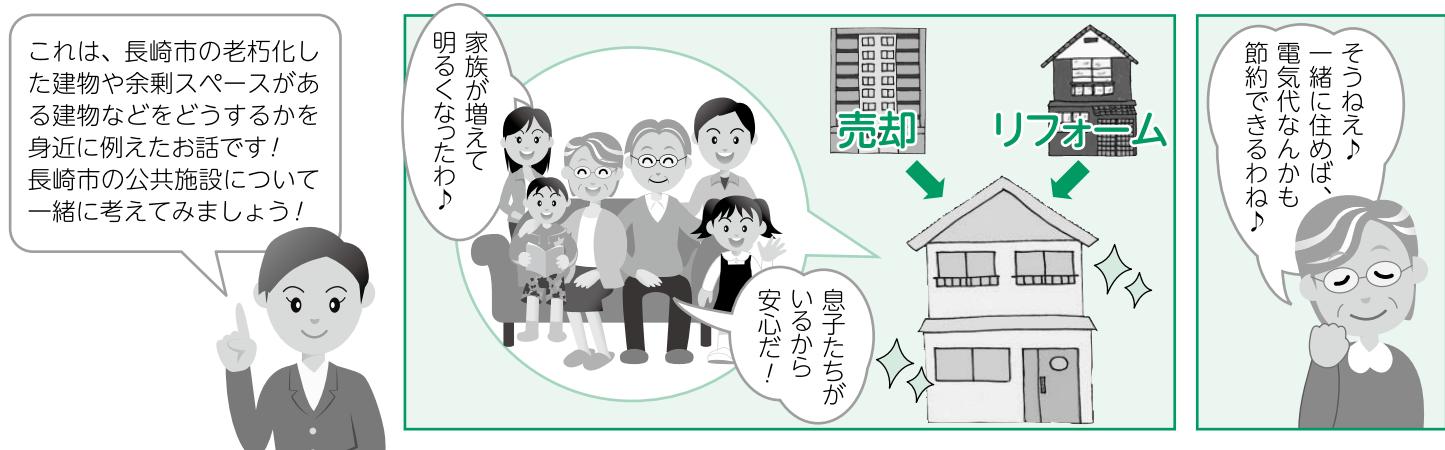
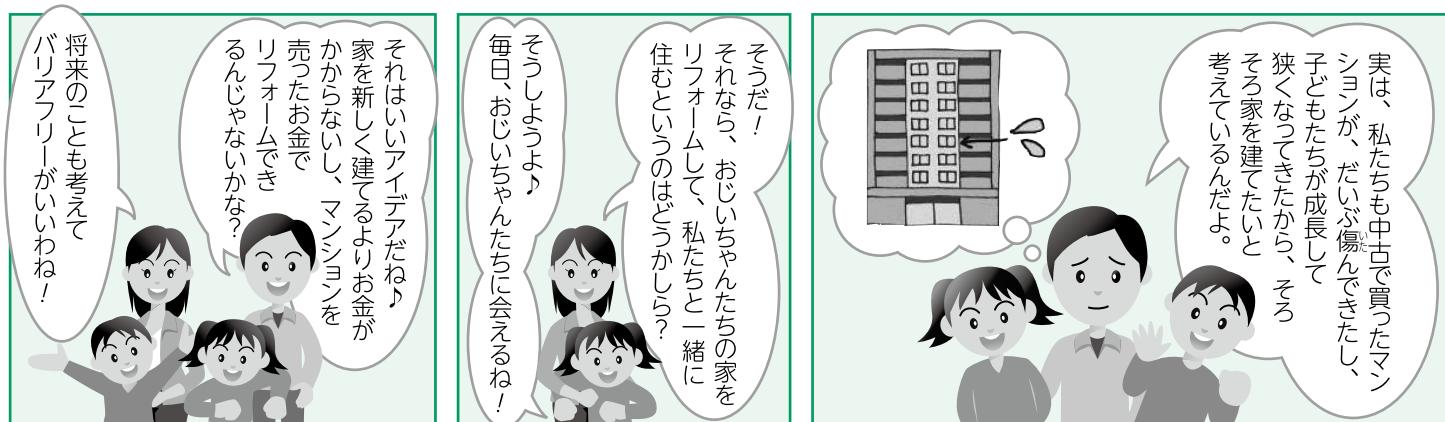
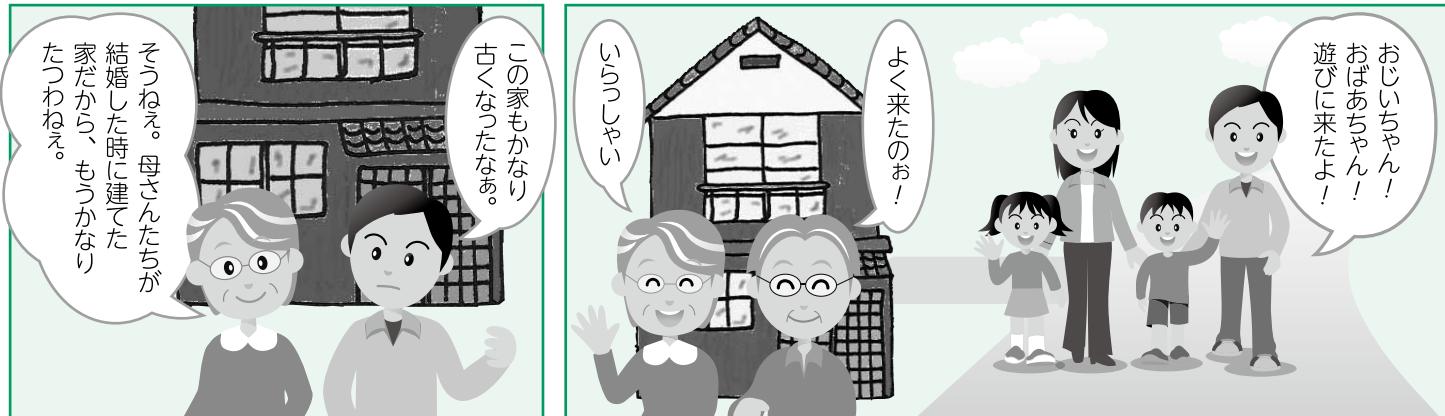


どうなる？

どうする？

# 長崎市の公共施設

～長崎市公共施設マネジメントの取り組み～



発行／長崎市資産経営室 ☎ 095-829-1412

長崎市公共施設マネジメント

検索



# 1 長崎市の公共施設の現状について

## ～公共施設を取り巻く環境が変わってきています！～

長崎市は、これまで人口の増加や経済発展にあわせ（特に1970～1980年代にかけて）、多くの公共施設を建設してきました。

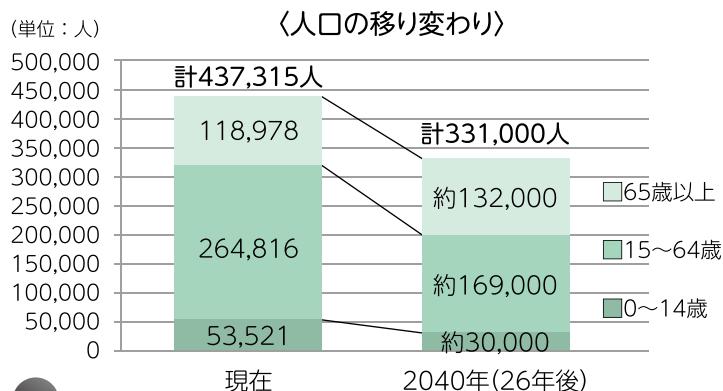
しかしながら、これらの公共施設は老朽化が進んでおり、これから一斉に大規模改修や建て替えなどの時期を迎えます。さらに、人口減少・少子高齢化など、公共施設を取り巻く環境にも「変化」が生じています。

まずは、具体的な5つの変化について、詳しく見ていきましょう！



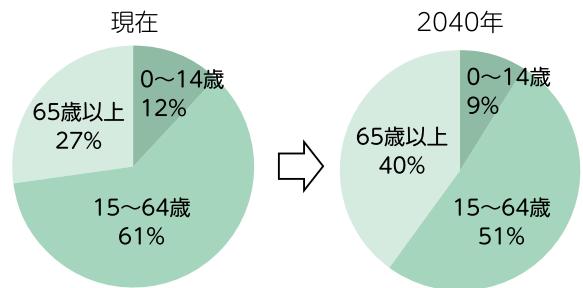
### ① 人口減少・少子高齢化が進んでいます。

(単位：人)



長崎市の人口は、約10万人も減るね。  
高齢者が増えて、働き盛りの人たちが  
減ってしまうんだ。

#### 〈年齢構成〉

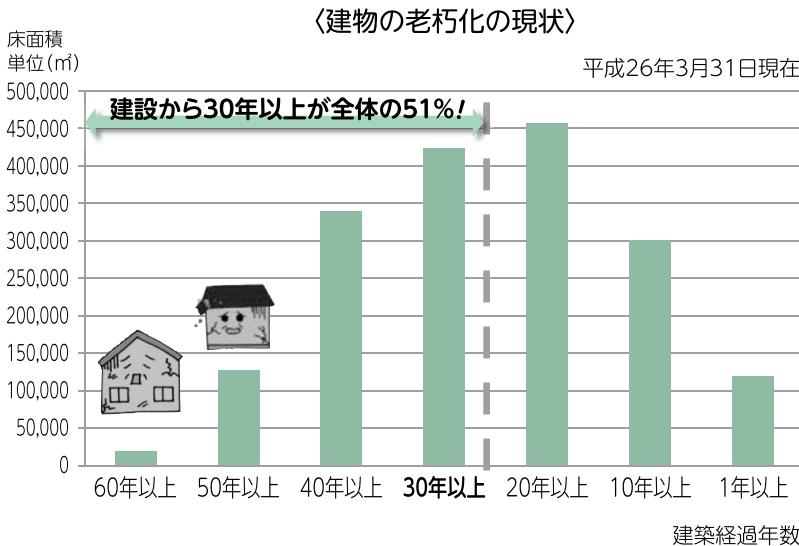


#### ポイント

- ★公共施設の利用者が減っていきます。
- ★利用者の年齢構成が変化していきます。
- ★特に働き盛りの人の割合が減るため、税収が減っていきます。

### ② 公共施設の老朽化が進んでいます。

床面積  
単位(m<sup>2</sup>)



建物を維持更新していくには、莫大なお金がかかる…。  
でも、古くなった建物をそのままにしておくと、安心して使うことができないわ。



#### ポイント

- ★築30年以上の建物が、全体の半数を超える老朽化が進んでいます。
- ★建物を改修したり、建て替えたりする時期が一斉にやってきます。

ここでいう「公共施設」とは…

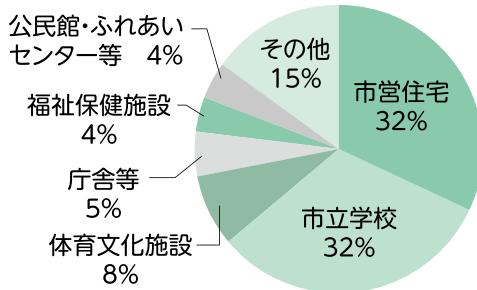
学校・市営住宅・ふれあいセンター・公民館・体育館・老人憩の家・児童センターなど、長崎市が設置・運営している施設のことです。

### ③ 公共施設が過剰になっています。



学校と市  
営住宅が  
1/3ずつ  
占めてい  
るのね。

〈長崎市の建物保有面積の内訳〉



〈人口1人あたりの建物保有面積〉

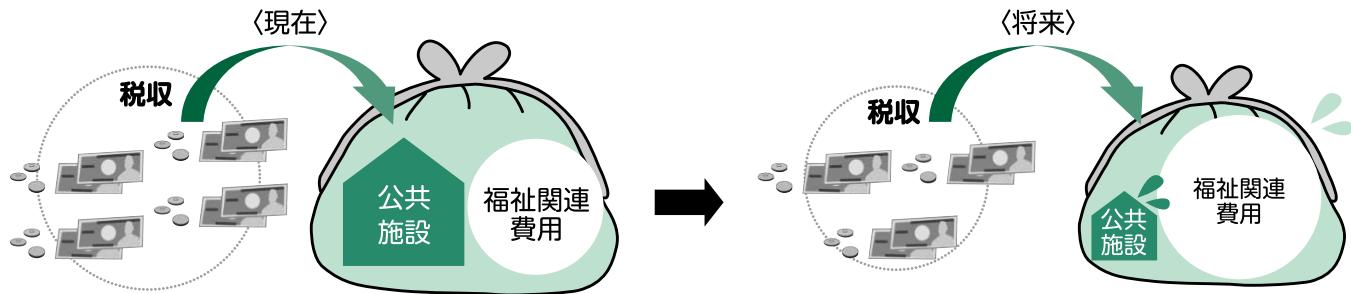
全国の市町村の平均	3.2m <sup>2</sup>
長崎市	4.4m <sup>2</sup>

H23総務省「公共施設状況調査年比較表」「国勢調査」より

#### ポイント

- ★人口1人あたりの建物保有面積が、全国平均と比べて約1.4倍と大きく上回っています。
- ★利用者の減少により、今後、使用されない部屋や施設が増えていきます。

### ④ 財政状況が厳しくなっていきます。



#### ポイント

働き盛りの人が減るので  
★税収が減って  
いきます。

高齢化が進むと

★福祉を支える  
費用が増えて  
いきます。

その結果

★公共施設の建て替え  
や改修に使えるお金  
が減っていきます。

言い換えると

★このままでは、今あるすべての公共施設を建て替えたり、改修したりすることができなくなります。

### ⑤ 市民ニーズが多様化しています。

用事が一度に  
済ませられたら便利ね



民間企業と  
連携してみ  
たら、もっ  
と良い施設  
になるかも  
しれないね



足腰にやさしい  
建物がいいわね



子どもたちが安全に遊べる  
ところがもっと欲しいわ

仲間づくりが  
したいなあ



#### ポイント

- ★求められるサービスが多様化しています。

※平成26年2月に実施した市民3,000人(無作為抽出)を対象とした  
アンケートに寄せられた市民の皆さんのご意見です。



今、これらの「変化」に対応しなければ、子どもや孫たちの次の世代へ問題の解決を先送りし、大きな負担を押し付けることになります。

そこで、長崎市は、これから公共施設のあり方について、市民の皆さんと一緒に考えながら、「公共施設マネジメント」に取り組んでいきたいと考えます。

それでは、最後のページでこの「**公共施設マネジメント**」について説明いたします！

## 2 長崎市が取り組む「公共施設マネジメント」について ～次の世代に継承できる持続可能な公共施設へ～

これから先も市民の皆さんに、安心して快適に公共施設を利用していただくために、長崎市は、さまざまな環境の変化に対応し、未来の子どもたちへ負担をかけずに引き継ぐことができる公共施設へと見直す取り組みを進めています。これが、長崎市が目指す「公共施設マネジメント」です。

### ① 基本的な3つの考え方

1 市民がより多く利用している公共施設へ

2 適正な配置と規模で設置している公共施設へ

3 効率的・効果的に管理運営している公共施設へ

### ② 数値目標と計画期間

コストシミュレーションを行ったところ、今後30年間に必要な建て替えや改修にかかる費用のうち、約879億円が不足するという試算結果になりました。このままでは、4つの建物のうち1つの建物の建て替えや改修ができないことになります。そこで、次のとおり、数値目標と計画期間を設定し、この不足額の解消に取り組むことにしました。

#### 数値目標

今後30年間の公共施設の建て替え・改修にかかる費用のうち不足すると見込まれる約879億円の解消に取り組みます。

#### 計画期間

15年間(平成27~41年度)で取り組みます。

※現在、公共施設を利用している私たちが、この課題を解決し、次世代に引き継ぐために15年間としました。

#### <今後30年間のコストシミュレーション>

長崎市が現在保有している公共施設を、今後も同じ規模で保有し続けた場合の、将来的な建て替え(周期60年)や改修(周期20年)に必要な費用を試算しました。

建て替えや改修に必要なお金①	3,340億円
公共施設に使えるお金②	2,461億円
不足するお金 (① - ②)	<b>879億円</b>

### ③ 公共施設マネジメントの主な取り組み

以下の取り組みを中心に公共施設マネジメントを進めていきます。

#### ○施設整備の選択と集中

(維持する施設を選択し、長寿命化へ！)

#### ○保有床面積の削減(総量抑制)

(施設のムダをなくす取り組みを！)

(いろんな使いができる複合化・多機能化へ！)

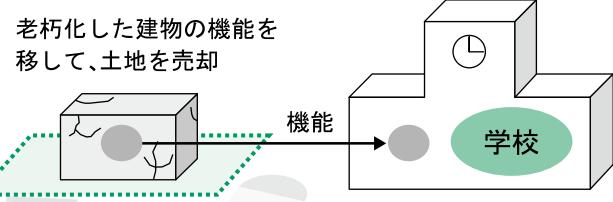
#### ○新たな財源の確保

(民間の経営能力の活用や、遊休資産の売却・貸付を！)

#### 複合化・多機能化とは…

複数の施設を1つにまとめたり、1つの施設にいくつかの機能を持たせたりすることです。

#### <学校の転用可能スペースを活用した複合化の例>



これからは、公共施設を賢く使い「子どもから高齢者までだれもが暮らしやすいまち」となるよう、一緒に考えていきましょう！

長崎市は、現在、行政サービス分野ごとに公共施設の将来のあり方を示す「長崎市公共施設の用途別適正化方針」の策定に取り組んでいます。市の素案ができましたら、市民の皆さんからご意見等を募集することとしております。詳細は、広報ながさき1月号でご案内します。